

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表日：令和6年7月8日

討議年月日：令和6年6月日

放課後等デイサービス 優

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☐			子供たちを保安するのにちょうどよいスペースは確保出来ていると思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	☐			基準配置はみだしているが低学年の児童が多い日には多めに配置できるようにしていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		☐		現状では配慮が必要な児童がいないため必要はないが受け入れられるように考えていけたら良いと思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか				PDCAサイクルの詳細や必要性を知らない職員もいるので社内研修等が必要だと感じる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☐			保護者アンケートの意見等を参考に改善に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	☐			HUGシステム使い保護者の方に自己評価なども載せインスタグラム、ホームページ等で情報公開は行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		☐		提供を結んでいるところとこれからも密に連絡をとり外部評価する機会を設けていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	☐			外部研修等で学習する機会を多く設けているので社内でももっと情報共有していけると良いと思う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		☐		半年に一回はモニタリング・アセスメントは行い必要に応じたニーズの提供は出来ていると思うが今後はもっと児童からの意見も聞く等し、児童本人のニーズを多く把握しながら個別支援計画の作成に努めていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		☐		契約時・モニタリング・アセスメント時や送迎時に保護者様より情報を聞き取りし職員に情報共有をしているがより良い共有の仕方を考えていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		☐		個々で考えたものを話相談することはあるが決まり事であるわけではないので、今後は変えていくのがより良いと考える。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		☐		一人で考えた活動案を他の職員にも共有し意見を求めて相談し固定化されないよう等の工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	☐			学休日には放課後に行く事の出来ない所へお出掛けしたり調理実習やお誕生日会、お楽しみ会などを設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	☐			学習時間、余暇時間の個別活動に取り組みその後は、集団活動の時間を毎日45分程度設けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		☐		日々の振り返りと共にその日の活動内容の確認・役割を職員間で情報共有をしつつ何か変更点があった場合等にも確認するよう努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		☐		勤務時間に時間差もある為ラインなどで情報共有を行っている。 また業務日報にて情報共有を行う、 各々がHUGシステムで前日の児童の様子を確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	☐			HUGシステムを用いて日々の児童の様子を記録し、写真を掲載し1日の流れ・様子・活動内容を記録し随時確認を行っている。
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	☐			少なくとも6か月に1回は保護者にもモニタリングを行い職員間で話し合いながら個別支援計画の見直しを行っている。 必要な児童は3か月に1回行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	☐			自立に向け様々な事が出来る等になる様に活動を考えに子供たちの力になるような活動に取り組んでいける様支援している。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	☐			相談支援員との交流の場も少しずつ設け、他事業所も交え担当者会議を開催し参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	☐			学校お迎え時にその日の様子を聞き情報の共有を図っている。また行事予定等は学校によっては担任から預かり下校時刻等の確認を全職員で行っている。交通状況等により迎えが遅れそうな時はあらかじめ学校に電話し遅れる旨を伝える等し対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			☐	現在該当児童はいないが必要があれば対応していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			☐	現在該当児童はいないが必要があれば対応していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			☐	現在は行っていないが必要があれば随時行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	☐			相談支援員との交流の場も少しずつ設け、他事業所も交え担当者会議を開催し参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			☐	公園利用時等でたまにまたまた子どもと、という交流はあるが正式的なものは少なく外部児童との交流は図れているとは言えない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			☐	現在参加等はしていないが今後は積極的に参加していける様努めていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	☐			保護者の方とは送迎時やHUGシステムでその日の様子等を伝えはいるが、伝えきれない場合にはラインや電話等で連絡を取り合い共通理解を持てる様に努め、必要に応じて家庭訪問を行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			☐	保護者にも支援を行うという機会も現状少ないのでデイに来る機会を増やし、交流を増やして保護者の方への支援や勉強の機会を増やしていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	☐			契約時に契約書・重要事項説明書を用いて説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	☐			保護者からの相談は随時受け付け保護者の悩み等を少しでも緩和出来る様に職員間でその都度話し合いをしながら対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			☐	現状では、保護者見学会を1回しか開催できていないので日々の子供たちの活動の成果を見てもらうと共に保護者同士連携を図って行ける様に今後も機会を多く作っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	☐			有事の際は職員間で話し合いをし、迅速に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	☐			利用希望表と共に活動内容を記載したものは配布している。また、不定期ではあるがハグの活動記録やSNSで公開している。
	35	個人情報に十分注意しているか	☐			個人情報に記載されているものは事務所の鍵付書庫にて保管している。SNSやHUGでの写真掲載には保護者の子承を得ている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	☐			個々の障害特性に応じ、コミュニケーションの図り方を考えながら取り入れ、意志の疎通・情報伝達に努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	☐			現状は交流がないので、今後は少しずつ地域交流の場を作って行くか検討していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	☐			各種マニュアルを策定し全職員が見られる様にし、職員間での周知は出来ていて保護者にはHUGシステムにて公開している。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	☐			月に1回活動に避難訓練を取り入れ、各災害に合わせた訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	☐			職員間では話し合いをし、参加できる職員は研修等にも参加している。今後は社内での研修を増やしより虐待防止に努めていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	☐			契約時に保護者に同意書にサインをもらい身体拘束を行った場合はその都度記録に残し、保護者にもその都度報告をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	☐			契約時・更新時に保護者から聞き取りをしたものをHUGに登録し、その日利用児童のアレルギーの有無を確認している。またアレルギー反応が出た時の対処法も聞き職員間で周知している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	☐			ヒヤリハット報告書を作成し、翌日の振り返り・月に1度のミーティング時に振り返りを行っている。都合により参加出来なかった職員も共通認識を持てる様にミーティング記録を見てもらい全体への周知の徹底と共に対策・改善に努めている。